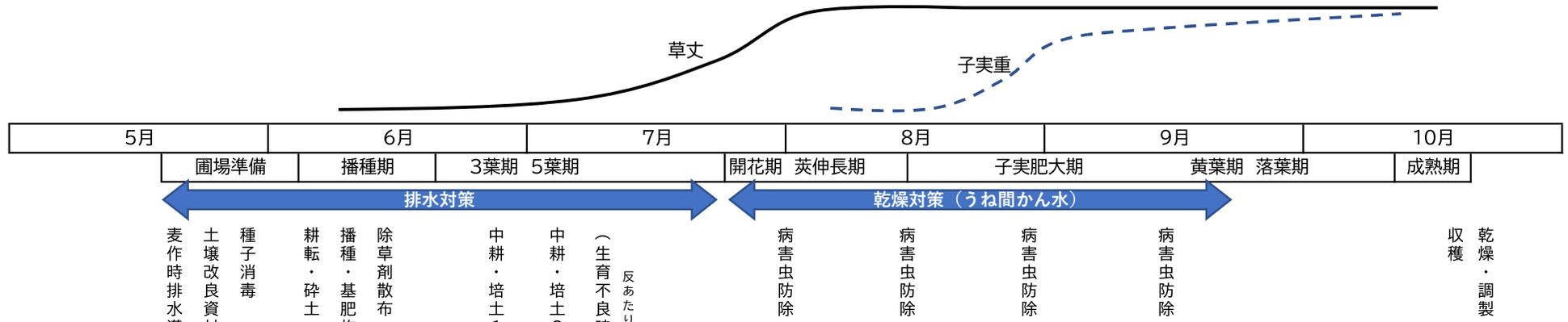


大豆栽培ごよみ(里のほほえみ)



【化成肥料体系】
 マグエース等 100kg/10a
 +
 ようりん 40kg/10a

【グリーンな栽培体系】
 マグエース等 75kg/10a
 +
 ようりん 30kg/10a

砕土率を高める
 →出芽・苗立ち向上
 →除草剤効果の安定化
 →培土効果の向上

○砕土率の目標
 直径2cm以下の土塊
 が表層の60%以上

【化成肥料体系】
 アグリフラッシュ444等
 20~30kg/10a

【グリーンな栽培体系】
 鶏ふんペレット堆肥
 100kg/10a (N3%の場合)

【グリーンな栽培体系】
 土改剤の一部と基肥全量を鶏ふんペレット
 堆肥などの有機質資材に置き換える体系
 →環境負荷の低減
 ・地力や土壌物理性の改善

鶏ふんペレット堆肥成分例(%)
 N3・P4・K3、石灰16



○培土
 ・不定根を発生させることで収量が向上(発生ピークは播種後25~30日頃)
 ・耐倒伏性が向上

○うね間かん水
 ・開花後の乾燥は莢の成育を阻害し収量低下、青立ち
 ・1週間程度降雨が無く、うね底が乾いたらかん水(方法)
 ① 排水口や暗渠のふたをすべて閉じる
 ② 用水から一気に水を流し、行き渡ったら止める

○収穫適期
 ・全ての葉が落ち、茎を振るとカラカラと鳴り、茎がポキッと折れる状態
 ・子実にわずかに爪痕がつく硬さ
 ・雑草や青立ち株を刈取り前に除去して汚損粒を防止